

発行 株式会社
安藤プロパン



本社
阿部局長
公開スタジオ
事務所
スタジオ
逆キヤネルLEDサイン

燕市大曲の燕交通公園内に、燕三条エフエム放送株式会社の本社が、密着型のFM76.8MHzで放送する。市・弥彦村、加茂市の一部、新潟市の一部、長岡市の一部、県央圏内に、ラヂオは、愛称で親まれ、エリア人口は22万人以上、6万世帯。

1998年(平成10年)8月に会社設立、同年9月24日、上越新幹線JR燕三条より放送を開始した。開局より16年経過した。2014年4月に現在の地に移転。

11月1日より、CMを2020年1月より、燕三条FMより電波で流す予定。準備を進めており、

そのご縁から、燕三条エフエム放送の阿部まゆ子局長を訪ね、お話を伺った。

「燕三条エフエム局は、燕三条のJC(青年会議所)で、明日の県央を志す会」のメンバー有志が、発起人となり、安全をモットーに、総務省から110番目のFM局として開局しました。

「現在、全国で35局(局)は、最初はボランティヤとして、協力という番組制作をしていきます。阿部局長の声には、艶美、2004年7月13日、新潟・福島豪雨が発生した際には、災害協定に基づき、

害情報を放送した。通常放送を全て休止し、24時間体制で被災者の安全情報を中心に避難情報、生活関連情報、また三条市長による市役所からの緊急割込放送を随時放送した。

また、ラヂオは、専らラヂオを無償で提供した。

阿部局長が入社したのは平成23年11月、入社と同時に番組改正に着手した。さっそくスタッフ並びにパーソナリティ、関係者等と会議を重ねた。その時にできたのが、「さとちん電波隊」佐藤かずゆきさんが、さとちん電波隊の山田さんが中ノ口弁を話すお菊さんに、

司会業・番組担当の高野一美さん、加ひとちんさん、もう一つの名前で、さとちん電波隊は、さとちん電波隊の強烈なキャラクターが、なごりから声が、かたり仕事、スナールの増え、さとちん電波隊によるCDデビューも果たした。

「台風、大雪等の災害が起った時に、ラヂオは、地域の情報を得ることが出来ます。いざという時に、この放送局が必要ないで、ね、まさか、この時に安心して放送して、います、と、阿部局長。

「自社の番組のほかに、東京のJ-WAVEから番組を流して、6時、夜の10時、J-WAVEの放送、深夜の放送、流す。阿部局長の送

あんしん 取材班が行く

燕三条エフエム放送 阿部まゆ子局長を訪ねて

「まさか…」の時に安心を
ラヂオは〜と

FM 76.8 MHz

ラヂオは〜とをインターネットラジオで!

インターネット環境があればスマホアプリやパソコンでどこでもラジオが聴けます。



スマホの方はこちらから

パソコンの方は

FMプラプラのサイトにアクセス後ラジオは〜とを選択。

「まゆの部屋」は毎週、曜日の19時30分、放送は毎週木曜日の11時30分から。現在はラヂオは〜とから、スマホ、パソコンでも聴くことが出来ます。お声は常にFMプラスの番組作りにより、

